令和５年魚病被害・水産用医薬品使用状況調査等実施要領

１　目的

　　本調査は、

（１）養殖魚種やその生産量、生産額

（２）養殖魚の魚病発生やその被害の状況

（３）水産用医薬品の使用状況

（４）魚病対策の指導助言者及び診療で利用した手段

（５）水産用医薬品開発の要望

に関する事項について、養殖業者にアンケートを行うことにより、養殖現場における疾病対策の実態について把握し、水産用医薬品の使用の適正化に向けた指導等の今後の魚類防疫の推進を図るために必要な基礎資料を得ることを目的とする。

２　調査の内容

（１）調査事項

　　　　次の事項について調査する。

　　　ア　養殖経営体の概要に関する事項（養殖魚種　生産量　生産額）

　　　イ　魚病の発生及び被害の状況等に関する事項（魚病被害の発生した魚種毎の魚病名、被害量、被害額）

　　　ウ　水産用医薬品の使用状況等に関する事項（ワクチンについても調査対象とする）

　　　エ　魚病対策の指導助言者に関する事項及び診療で利用した手段

　　　オ　水産用医薬品開発の要望

（２）調査対象

　　　　調査対象は、調査対象期間内において、藻類及び貝類を除く水産動物（種卵、種苗の生産を含む）の海面及び内水面養殖業を営む全ての経営体（種苗センター等公的機関を含む）とする。

（３）調査対象期間

　　　　調査対象期間は、令和５年１月１日から令和５年１２月３１日までとする。ただし、令和５年１月１日以前に発生し、同日以降も継続した魚病は、発生時期を明記の上、調査対象に含めることとする。

３　調査の方法

（１）別添調査票（１～３頁）の所定の事項について記入してください。

（２）養殖魚種別に、**生産量はkg単位**、生産額は**千円単位**で記入してください。

（３）魚種名は可能な限り**具体的な魚種名で記入**してください。

（４）調査票で養殖区分として挙がってない魚種についても、できるだけ詳しく記入してください。

（５）使用薬品名はできるだけ**正確**に入力してください。

（６）魚病名がはっきりわからない場合は「不明」と記入してください。

（７）該当がない場合は、「該当なし」等を記入してください。